

2-1- 第二次大戦前、水道、工業用水は大半を地下水に依存

- ・数万年前の旧石器時代、狩猟生活を営む人々が利根川流域に住み始め、紀元前1世紀前後には稲作が始まりました。
- ・明治20年に火力発電が始まりましたが、日露戦争後、水力発電が急速に進展し、明治45年には水力発電は火力発電を上回りました。利根川水系での水力発電は、明治23年が最初です。
- ・明治10年には工業用水、明治21年に水道用水の取水が開始されましたが、上流部に限られ、第二次大戦前においては、中・下流部では大半が地下水に依存していました。